

# 神海丸通信

第8号

実習目標 (MVPを目指そう!!)

**Mission** (与えられた事に対して常に使命感を持ち取り組む!)

**Vision** (全てにおいて先を見据え、考えながら行動をする!)

**Passion** (この状況下の実習を情熱的に全力で取り組む!)

どうも、乗船主教官です。島根県大型練習船「神海丸」は関門海峡を通過中です。いよいよ漁場に向けて本格航海が始まりました!!



1月20日(月) 関門海峡通過中 元気に行ってまいります!!



関門海峡とは日本の本州（山口県下関市）と九州（福岡県北九州市）を隔てる海峡です。

船舶の航路として使える幅は最狭部で約 500メートルに過ぎず、S字状に屈曲していて見通しが悪い上、潮流も早いのが特徴です。古来より日本とアジア大陸を結ぶ重要航路として今日まで多くの船舶の重要航路となっています。



本日は快晴です！絶好の航路学習日和です！！海洋テクノコース、専攻科漁業科生は事前の授業でも関門海峡について学習してきました。

学んできた知識を活用しながらの航路学習となりますので、学校にいるよりもより多くの学びに触れられています。ここでの経験を今後の学校の学びでも活かしながら生活してほしいですね！！



海峡の狭さ、潮流の速さ・向き（潮の干満により 1 日 4 回潮流の向きが変わる）、船舶通航量の多さ、航路の複雑さから、日本国内に 7 箇所設置されている海上交通センター「関門マーチス」が置かれています。海峡を通過する大型の船舶には水先案内人（パイロット）の同乗が義務づけられていたりもします。潮流放送（ひのやました）、潮流信号所（部埼、火ノ山下、台場鼻）、自動船舶識別装置（AIS）が設置されており、潮流等による事故を防止するために様々な情報提供がされています。



### 神海丸通信と日報をご覧の皆様へ

これから本船（神海丸）は漁場へ向けて航海します。日本沿岸域を離れますので、神海丸通信、日報写真等については衛星を通しての Mail 通信の関係上、画像が少し不鮮明になります。これからも船内の様子や、船・乗船教育を少しでも見て知って頂ける内容の通信を作成しますので愛読いただければと思います。 それでは元気に行ってきます(^)/